

データの調べ方 はじめのテスト

6つのポイントをたしかめよう

なまえ _____

ひづけ _____

- ・ 答えの数を書きましょう。単位は、四角の右に書いてあります
- ・ 「番号」と書いてある問題は、えらんだ番号を書きます
- ・ 計算は、あいているところ書いてもよい

- ① 7人のボール投げの記録です。中央値を求めましょう。
ボール投げの記録 (m)

9	4	7	12	3	8	5
---	---	---	----	---	---	---

m

- ② 8人の漢字テストの点を、小さい順にならべました。中央値を求めましょう。
漢字テストの点 (点)

3	5	6	7	9	10	12	14
---	---	---	---	---	----	----	----

点

- ③ 8人の10点満点のテストの点です。さいひん値を求めましょう。
10点満点のテストの点 (点)

6	8	7	8	9	8	10	7
---	---	---	---	---	---	----	---

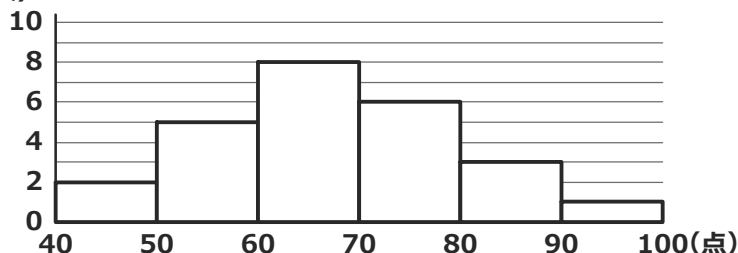
点

- ④ 12人のなわとびの回数です。20回以上30回未満の人は何人ですか。
なわとびの回数 (回)

12	25	30	18	20	33	20	27	15	22	30	24
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

人

- ⑤ 25人のテストの点を、柱状グラフ (ヒストグラム) にしました。70点以上の人は、
ぜんぶで何人ですか。
(人)



人

- ⑥ 5人のおこづかいです。ふつうの金額を表すのに、いちばんふさわしい代表値の
番号を書きましょう。

① 平均値

② 中央値

③ さいひん値

5人のおこづかい (円)

400	500	600	700	8000
-----	-----	-----	-----	------

番号



データの調べ方 はじめのテスト【こたえ】

6つのポイントをたしかめよう

なまえ _____

ひづけ _____

×がついた問題は、右はしに書いた「×だけ練習」の紙で、同じ型だけをやり直しましょう。

① **7** m まちがえたら → ×だけ練習①（中央値）

→ 12m（ならべかえずに、元の4番目）とする誤答に注意。中央値は、小さい順（大きい順）にならべかえてから真ん中の値をとる。

とき方 小さい順 3、4、5、7、8、9、12 の4番目=7

元の並びの4番目の12は、ならべかえる前の真ん中なので、中央値ではない

② **8** 点 まちがえたら → ×だけ練習①（偶数個の中央値）

→ 7点や9点（真ん中の2つのどちらか一方）とする誤答に注意。8人のように個数が偶数のときは、真ん中が2つ（4番目と5番目）あるので、その平均が中央値。

とき方 $(7+9) \div 2 = 8$ （4番目と5番目の平均）

7と9のちょうど真ん中の数が8

③ **8** 点 まちがえたら → ×だけ練習①（さいひん値）

→ 10点（いちばん大きい値）とする誤答に注意。最頻値は、いちばん多く出てくる値（8点が3回）。値の大きさではなく、出てくる回数で決まる。

とき方 8が3回でいちばん多い=8

10は1回しか出てこない。回数を数えて、いちばん多い値をさがす

④ **6** 人 まちがえたら → ×だけ練習②（階級の境目）

→ 8人（30回も入れた数）とする誤答に注意。「20以上30未満」は、20は入り、30は入らない（30は次の階級）。30の人が2人いる。

とき方 20以上30未満の値は 20、20、22、24、25、27 の6人

30回の人（2人）は「30以上」の階級に入る。20回の人が入る

⑤ **10** 人 まちがえたら → ×だけ練習②（柱状グラフ）

→ 6人（70以上80未満の柱1本だけ）とする誤答に注意。柱状グラフの柱は、となりあう階級を表す。「70以上」は、70から右にある柱を全部たす。

とき方 $6+3+1=10$ （70より右の柱の人数をたす）

1本ずつの柱の高さが、その階級の数。70以上は、3本ぶん

⑥ **2** = 中央値 まちがえたら → ×だけ練習③（代表値の使い分け）

→ 1（平均値）とする誤答に注意。8000円の人が1人だけ大きいので、平均値（2040円）はみんなの金額よりずっと大きくなる。大きすぎる（小さすぎる）値があるときは、中央値を使う。

とき方 平均値2040・中央値600・最頻値なし → ②中央値

目的で選ぶ。外れ値があるなら中央値、いちばん多いものなら最頻値、全体をならすなら平均値